

江戸ソバリエ、ブータン蕎麦づくしの旅 ～ 輪廻転生を感じる ～

2013年8月23日(金)から8月30日(金)

寄稿 矢澤 興一

翼が山に当たると思える山あいの一直線のパロ空港に舞い降りた。空を仰ぎ見ると抜けるような青空である。山の緑と空港ビルの茶色と白壁がすがすがしい。緑深き断崖絶壁の山道をマイクロバスに一日揺られて、途中峠から見るヒマラヤ山脈の白と空色に輝く山々は神々しく思わず手を合わせました。そして唐辛子の赤、民族衣装の鮮やかな色を見て後で見る事となる。プムタンの黄昏時どきに目的地につき、山あいのピンクに咲き誇る蕎麦畑をみて、疲れも忘れた、いい景色だと感激しました。・・・・ブータンの色はこれだと思った。原色の世界である。人びとのこころも曇りなき、人として清らかな原色と感じた。

パロ空港上空飛行



パロ空港ビル



テンプーの野菜市場の唐辛子



断崖絶壁の山道



ドチュ・ラ（峠）から見るヒマラヤの山々



ブータンの人の心のよりどころである輪廻転生について、これがそうなのかと思える写真を通して感じてみたいと思います。(まったくの自己満足の解釈です)

ブータンでは人々の多くはチベット仏教を信仰している。輪廻転生とは、人は悟りを開くまで、死後繰り返しこの世に戻ってくるという確信をもっている。来世に私は虫として生まれ変わるのか？あるいは牛か犬か猫か鳥？いまの生をどの様に生きるかによって、つぎの生が決る。よりよい来世を得るには、功德を積まなければならない。人に親切にする、生きているものを殺さない、良い心がけの慈悲の心を保つ……。仏教では、命を奪うなど教える。また輪廻転生の中で両親との出会いはかなりの確率であることから、両親を大切にすることも大切なことと書かれている。

マニ車を手に右回りに堂を巡り日々
功徳を積まれている人々



火葬した頭蓋骨を砕き経文、土で固
めた小さな仏塔を作り山の斜面に並
べ置き輪廻転生を待つ



1,命を大切にする (生き物を殺さない)

鮭のいる河で釣りする人も、釣り
禁止の看板もない



牛、犬、カラスと前世では村の家
族だったかと思えるほどに歓談す
る早朝の風景である



立ち尽くす牛の乳めがけて 10 回？
ジャンプする黒いものを見る。
カラスが乳まわりの虫を食べてい
るのだという



家庭料理とヒュンテの作り方を教わっ
たハ出身の家で民族衣装の家族と



ブムタンの黄昏時のピンク色の蕎麦畑
と黄昏どきのメンバー 着いたぞー



2,必要なもので満足する (盗まない)

段々畑で大切に必要なものだけを栽
培して生活の糧とする



森の木々の一本たりとて管理のもと
無駄に切らない



小さな村の市場



ブータン料理は限られた食材でパターン化されている



3,TPO を踏まえて本当のことを言う（嘘を言わない）

輪廻転生の仏教感の中で真実を求め続ける人びとは、嘘を言う必要もないのでは



4,論理道徳に根ざした恋愛をする（不倫をしない）

ブツタ、菩薩、教祖像 を身近に掲げて論理道徳を意識して生活をしている



聖なる地として地域に 108 本の教文をたてることにより思想の安定を維持している



生活環境からくる一夫多妻・一妻多夫の様態は論理道徳からくる、不倫をしない一つの方法か？

5,正常な判断力を保つようにする（酒を飲まない）

水曜日は国の禁酒日としていると聞いたが。あまり酒は飲まないようだ。実際には泥酔状態になるほどは飲まないと解釈する。

自家製の蕎麦焼酎の蒸留装置で造る
アラというお酒をいただいた



乾杯、アラ旨い蕎麦焼酎だね



一番大きな容器①に蕎麦麴発酵容器②を入れて蕎麦麴、蕎麦③を入れて煮る。水蒸気を最上部の冷水器④に当てて冷却して水滴を一番大きな容器①に溜める。これが アラ(蕎麦焼酎)です。



地ビールのな味



RED PANDA 濁りがありトロ味のあるビールで美味しかった



気になった写真

たくさんの写真がまだあるがその一部を最後に紹介してページを閉じさせていただきます。

団長の思案顔とブータンの高価で華麗な年代物の織物



柳の葉の日よけ帽子を被った下校途中の学生さん、清らかな表情に見とれた。国の将来は明るい



下校中のわんぱく、屈託ない純真さがいい



聖地にはためく経文の書かれた旗



自給自足の集落と段々畑、窓枠の統一された家々がまとまりのあるブータン国を象徴している



今回の目的は蕎麦振舞い

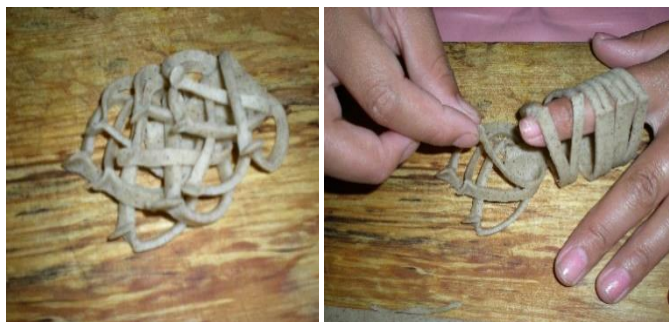
水車小屋の石臼製粉



持ち込んだ蕎麦打ち道具



蕎麦粉でつくるプータンのお菓子を教わる



手打ち蕎麦と蕎麦料理の披露 喜んでもらえて本当に良かった



大変お世話になった会場と出席者とレキホテルの皆様



ありがとうございました。

おしまい